

安全第一

社長 石橋和幸

基本理念

安全はすべてに優先する

「安全と健康は経営の基盤であり、
全ての活動の大前提である」

目 標

重 要 災 害 撲 滅

スローガン

仲間の安全、みんなの健康
見つけて減らそう
職場のリスク

2025 年度 安全衛生管理基本計画

I. 基本方針

【安 全】

災害の未然防止のため、全社員が自ら考え、
自ら実行する『考動』を徹底する

【衛 生】

社員の自発的な健康増進活動に対する支援と
組織的な健康活動の推進により
『組織の活性化』と『生産性の向上』を目指す

安全と健康は企業として最も優先すべき責務であり、当社も『安全はすべてに優先する』を基本理念に掲げ、災害の撲滅に取り組んでいる。

重要災害の撲滅に向け継続して取り組む中、電柱倒壊、キュービクル上からの墜落、高圧充電部への接触による感電（2件）※という4件※の重要災害が発生した。特に、5月度に発生した倒壊災害について、災害発生後の報告が適切に行われていなかったことは、如何なる理由があろうと許されないものである。 ※朱書き：3/31修正（3月末累計値へ変更）

更に、重要災害以外においても、高所作業車や建柱車の転倒により操作者が被災したものの、転がり落ちた電柱の下敷きとなり被災したものなど、一歩間違えれば取り返しのつかない災害に繋がる事案が発生したことは真摯に受け止めなければならない。

交通災害については、公衆加害災害が後を絶たず、前年度の件数を上回り発生した。主な原因は「前方不注意」「漫然運転」といったもので、安全運転の基本未遵守と言わざるを得ない。安全運転意識の低下が危惧されるため、モラル向上に向けた取り組みを継続する。また、当社が被害者となる災害も増加していることから、改めて被害リスクの低減に向け「防衛運転」を徹底する必要がある。

災害を未然に防止するため、事業所長（総括安全衛生管理者）をはじめ、管理・監督者（職長・安全衛生責任者、安全運転管理者など）が、現場第一線において「不安全な行動」と「不安全な状態」を絶対に許さないことや、安全作業基準などを「遵守することの必要性」や「遵守しないことのリスク」について、作業員一人ひとりに漏れなく理解浸透させることが極めて重要である。

衛生にあつては、2018年の健康経営宣言以降、「社員の健康と明るく活気に満ちた職場づくり」に向けた施策の実施により、初めて「健康経営優良法人」に認定（2025年3月）された。しかしながら、依然として健康診断の有所見率は業種平均を上回り、高い喫煙率等の健康リスクやメンタル不調による休職リスクは職場の活性化に影響を及ぼす経営上の課題と考える。今回の健康経営優良法人認定を契機として、「社員の健康は重要な経営資源の一つである」という認識のもと、自発的な健康増進活動に対する支援と組織的な健康活動の推進を行っていく。